

必要
備品

購入品

リペアエポCR・リペアエポCR専用ガン・専用ノズル

その他準備物

シーリング均しヘラ・ウェス



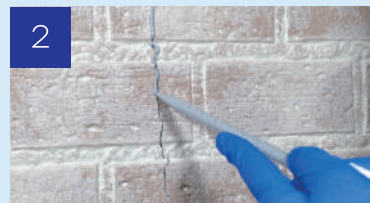
こちらのバーコードから
専用ガン組み立ての
動画を視聴できます。



施工手順



1 ひび割れ周辺の汚れを除去します。



2 ひび割れにノズル先端を当て1回目の
充填を行います。



3 ヘラを用いてひび割れを均します。



4 1回目の充填箇所に2回目の充填を
行います。



5 表面を整え、周辺の盛り上がりや
余計な補修材をばかします。



こちらのバーコードから
施工手順の動画を視聴できます。

【リペアエポCR 硬化時間】

気温	工程間
10℃	6～8時間以上7日以内
23℃	4時間以上7日以内
30℃	2～3時間以上7日以内
40℃	1.5～2時間以上7日以内

【リペアエポCR 1個あたりの充填可能な長さ】

ひび割れ幅	1mあたりの 使用量	1個で充填可能な ひび割れの長さ目安
0.5mm	3.5g	16m
1.0mm	10.3g	5m
2.0mm	20.0g	3m
3.0mm	31.2g	2m

※リペアエポCR 1個あたりの内容量：約63g (50ml)
ノズルロス：5g 使用可能：58g
※リペアエポCRを1回で使い切った場合のひび割れ補修長さ

【注意事項】

●所定用途以外で使用しないでください。●作業所は十分に換気してください。●取扱い中は皮膚に触れないように注意し、必要に応じて保護マスク、保護手袋、保護眼鏡等を着用してください。●皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石けんと水で洗い落してください。●気分が悪くなった場合等は必要に応じて医師の診断を受けてください。●冷暗所保存での製品の有効期限は製造日より1か年となります。●開封後は、なるべく早く使い切ってください。●廃液は法令に従って処理してください。●幼児、子供が触れるようなことがないように保存、保管、破棄をしてください。

【リペアエポCR試験結果】

- 『圧縮強さ』60.0 MPa (参考試験方法：JIS K 7208)
- 『圧縮弾性率』1,630 MPa (参考試験方法：JIS K 7208)
- 『引張強さ』30.0 MPa (参考試験方法：JIS K 7161)
- 『引張剪断』25.0 MPa (参考試験方法：JIS K 6850)
- 『曲げ強さ』110.0 MPa (参考試験方法：JIS K 7171)
- 『曲げ弾性率』2,020 MPa (参考試験方法：JIS K 6911)
- 『硬化収縮率』5.0 % (参考試験方法：JIS A 6024)
- 『硬度』80 D (参考試験方法：JIS K 7215)
- JIS K 5660
つや有合成樹脂エマルジョンペイント
『耐湿潤冷熱繰返し性』合格

【対応素材】

窯業系サイディング

【製品データ】

荷姿	 リペアエポCR	2個セット リペアエポCR：2個 専用ノズル：4本
	 リペアエポCR 専用ガン	6個セット リペアエポCR：6個 専用ノズル：12本
	 専用ノズル	1個
色	ライトグレー (N-80近似色)	
工程間	4時間以上7日以内 (23℃)	
可使用時間	40分 (23℃)	

※可使用時間は専用ノズル内で混合されている材料のみに発生します。

【施工上の注意】

●最初に出てくる補修材は混合不十分な場合があるため、1cm程度捨て打ちしてください。●使用後は早めに使い切ってください。●カートリッジは蓋をしていれば再使用可能ですが、蓋の付近で反応した補修材が硬化している場合があります。●一度使用したノズルは硬化するため再使用不可になります。可使用時間を超過した場合は新しいノズルをご使用ください。●専用ガンとノズルを別途購入します。

ASTEC
PAINTS

雨水の浸入を防ぎ、建物を劣化要因から守る
窯業系サイディング専用ひび割れ補修材

リペアエポCR

二液窯業系サイディング用
特殊エポキシ系樹脂補修材

Repair × Epoxy × Crack

REPAIR EPO CR

ver.202306

雨水の浸入を防ぎ、建物を劣化要因から守る
窯業系サイディング専用ひび割れ補修材

リペアエポCR



特徴

1 補修跡が目立ちにくい

Features of Repair epo CR

ひび割れにリペアエポCRを充填し、塗装を施すことで補修跡が目立たなくなります。



補修前のひび割れ リペアエポCRを使用してひび割れ補修 リペアエポCRを充填した後塗装

補修跡の比較

一般的に窯業系サイディングのひび割れ補修はシーリング材を用いて行なわれます。シーリング材の場合は充填後、肉やせしてしまい、補修跡が目立ってしまいます。一方リペアエポCRの場合は肉やせすることがありません。リペアエポCRとシーリング材、それぞれ補修を行なった後に塗装を施したところ、シーリング材は補修跡がわずかに目立つのに対して、リペアエポCRの補修跡はほとんど目立ちません。

リペアエポCR

シーリング材



補修跡が目立たない



補修跡がわずかに目立つ

特徴

2 シーリング材と比較して短時間で施工可能

Features of Repair epo CR

シーリング材を用いてひび割れ補修を行った場合
①Vカット(シーリング材を充填するために、カッターでひび割れにV字の切り込みを入れる作業)
②プライマー塗布
③シール充填
④表面成形
という工程で作業を行います。
それに対してリペアエポCRは、Vカットをする必要がなく、専用ガンを使って補修を行うため
①製品をひび割れに充填
②ヘラでかき取り
と工程が少なく短時間で施工可能です。

リペアエポCR

- 1 製品をひび割れに充填
- 2 ヘラでかき取り

シーリング材と比べて
工程が短縮できます。

シーリング材

- 1 Vカット
- 2 プライマー塗布
- 3 シール充填
- 4 表面成形

特徴

3 ノンブリードのためベタつきが発生しない

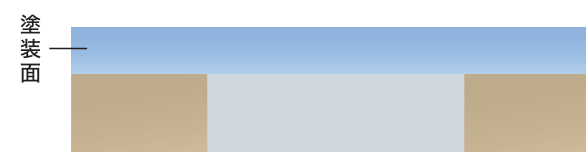
Features of Repair epo CR

ブリードとは、シーリング材に柔軟性を出すために配合された可塑剤が漏出し、目地上の塗膜にベタつきが発生する現象です。
ブリードが発生し、ゴミやホコリが付着すると、美観を損ねてしまいます。
リペアエポCRは可塑剤が含まれていないノンブリードタイプのため、ベタつきが発生せず美観を維持できます。

※ノンブリードタイプのシーリング材ではベタつきは発生しません

リペアエポCR

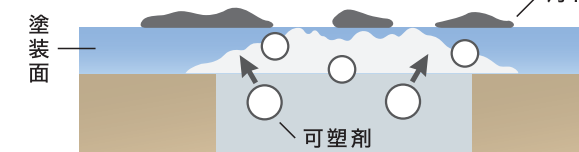
ノンブリードの場合



可塑剤が補修材に含まれていないため
ゴミやホコリが付着しない

シーリング材

ブリードする場合



可塑剤が補修材から染み出し、表面にベタつきが発生するためゴミやホコリが付着する

◆ リペアエポCRとシーリング材の比較

主な材料	工法	主な工程	作業時間目安	硬化時間	補修跡	可塑剤移行
リペアエポCR	リペアエポCR工法 (二液エポキシ樹脂)	①充填 ②かき取り	30分以内	4時間以上	目立たない	しない
一般的なシーリング材 ^{※1}	シーリング工法	①Vカット ②プライマー塗布 ③シール充填 ④表面整形	2時間以内	3日以上	目立つ (模様ムラ、段差)	する

※1 ノンブリードのシーリング材の場合ベタつきは発生しません。

※2023年6月時点でリリースされているアステックペイントの水性下塗材・溶剤下塗材どちらも施工可能です。